

2022.3.19 栄養ケア緩和ケア2 講演 I

しあわせをもたらす食事と栄養 管理栄養士なら演出できる！

大谷 幸子

大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 健康栄養学科
大阪樟蔭女子大学 大学院附属 くすのき健康栄養センター

夜明け前(キッチンダイエーションの呪縛)

かつて、日本各地の病院栄養士たちは、
一日中厨房の隅で献立とにらめっこしていました。
いつしか彼女たちは「キッチンダイエーション」
または「長靴を履いたウサギさん」、と揶揄される
ようになりました。
そんな状況を苦々しく思う者もいた。



ドラッカー語録

「イノベーションとは、新しい能力を
生み出すことだ。」

本日の内容

1. 病棟栄養士へのこだわり
2. 従来からの脱却作戦
3. ファーストペンギンを恐れず
4. 食事・栄養で人々に幸せを
5. 管理栄養士しかできないこと

1. 病棟栄養士へのこだわり

2. 従来からの脱却作戦

3. ファーストペンギンを恐れず

4. 食事・栄養で人々に幸せを

5. 管理栄養士しかできないことを

こだわりの始まり

私の社会人スタートは、地元市内にある総合病院（当時300床）での**病棟栄養士**から始まった。社会人としての原体験がここにあり。

時は昭和50年代
キッチンダイエーション全盛期

病棟栄養士？！

どこで、何をしたらいいの？

病棟に栄養の仕事なんてあるの？

病棟の医師もナースも皆が戸惑った。

地元の大学病院に転職

事件は起きた

一人当番で出勤のある朝、1本の電話が鳴った。
まだ転職して間もないころ。

病棟師長から、みかんが腐っている**クレーム**
だった。

心の声

厨房にいるのが
普通だけど……

患者さんが相
手の仕事なの
だ。

自分たちも病棟
に行っていていいん
だよわー

外国ではどう
なの？

海外にも興味が湧いた

日本は献立作成と食材管理がメイン業務になっているが、全世界そうなのか。

「**そうじゃない！**」漠然とした思いを確認したい。
欧米に視察に行き、この目で確かめたい。

誰か「**私を欧米に連れてって！**」

そして、チャンス到来

転機のきっかけとなった視察

アメリカで得た一粒の種

1. 病棟栄養士へのこだわり

2. 従来からの脱却作戦

3. ファーストペンギンを恐れず

4. 食事・栄養で人々に幸せを

5. 管理栄養士しかできないことを

とは言っても、

病棟は遠く…(; ∇ ;)

いろいろ戦略を練った

戦略 その1

地下からの脱出！

管理栄養士として、病院内の
存在価値をアピールする。

作戦：顔と名を売る

- 栄養指導報告書は**自分で病棟**に届ける。
- 「管理栄養士の〇〇です」と**名前を**言う。
- 名前は**フルネーム**ではっきり名乗る。
- 病棟食堂で、食事時には**笑顔**で患者さんに声をかける。

作戦：教授回診に同行

- 直談判で、外科教授からOKをもらう。
- 第一内科教授にも交渉し、快諾を得る。
- **回診同行の効果は絶大！**

たちまち、医師から食事オーダーの相談から、栄養指導の依頼、合同勉強会の誘い、など話しかけられるようになった。

作戦：栄養指導倍増計画

- 時間短縮し、**継続栄養指導**を増やす。

- **出前栄養指導**の実施。

（入院の栄養指導は、管理栄養士が各病棟の面談室に出向いて行う）。

◎患者サービスの向上。

◎病棟のスタッフとも仲良くできる。

◎その場に居るのが当然の雰囲気。

**効果
抜群！**

戦略 その2

栄養管理質の向上

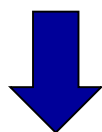
- **個**をのぼす。
- 一人ひとりが、**今年**の**目標**を持つ。
- **互い**に**意識**し合い、必ず**成果**を出す。
- 業務の標準化⇒全業務見直しと選択。
- **インフラ整備**⇒事務室の拡張、IT整備。
- 成果を学会・論文に**発表**。

戦略：時流に乗る！

チーム医療の推進を追い風に、
一気に**管理栄養士の存在感**を示す。

NSTを立ち上げる

- 厨房からの脱却にはNSTが不可欠。
- 管理栄養士として正式に病棟へ進出。



- **NSTの設立に奔走！**
- 糖尿病チーム医療でも
主要なメンバーとなる。
- 病院中に出没。



清掃スタッフ
も驚き！

1. 病棟栄養士へのこだわり
2. 従来からの脱却作戦
- 3. ファーストペンギンを恐れず**
4. 食事・栄養で人々に幸せを
5. 管理栄養士しかできないことを

ファーストペンギン

集団で行動するペンギンの群れの中から、天敵がいるかもしれない海へ、魚を求めて最初に飛びこむ1羽のペンギンのこと。転じて、その“勇敢なペンギン”のように、リスクを恐れず初めてのことに挑戦するベンチャー精神の持ち主を、米国では敬意を込めて「ファーストペンギン」と呼びます。

引用:日本の人事部HP <https://jinjibu.jp/keyword/detl/773/>

2016年デジタルガレージは、世界を舞台に独創的な挑戦を続けるリーダーを応援する「デジタルガレージファーストペンギンアワード」を創設

～～第1回をサッカー選手の本田圭佑氏に授与～～

あえて飛び込む気概を

たとえ困難と思えても、
持たない目標(夢)は絶対に
実現できない。

最初のケースでも
行動する気概を
もちたい。

勇気をもって経営陣を説得

“病棟栄養士の意義”

1. 全入院患者に過不足のない栄養管理の実施によって診療報酬を順守。
2. 迅速かつ日常的に全入院患者の栄養管理、栄養指導、食形態調整等のチーム医療が可能。
3. 退院支援に参画し、病診連携に向けたシームレスなケアに繋げる。
4. 医師、看護師の栄養関連業務の軽減に寄与。

そしてイノベーションは起きた

- **病棟管理栄養士(42:1)**で、入院患者の栄養管理に専念できる体制を確立。
- 入院診療計画書策定には**管理栄養士の介入&記載を必須化**。
- **認定キッチンとハラル食**の立ち上げ。
- **ホスピスの食事を充実(リクエスト食**など)。

さらに！今春、画期的な
令和4年度診療報酬改定で
病棟栄養士が認められた。
苦節50年、晴れて国公認の
病棟栄養士が誕生する。

病棟における栄養管理体制に対する評価の新設

- 患者の病態・状態に応じた栄養管理を推進する観点から、特定機能病院において、管理栄養士が患者の状態に応じたきめ細かな栄養管理を行う体制について、入院栄養管理体制加算を新設する。
- 退院後の栄養食事管理に関する指導を行い、入院中の栄養管理に関する情報を他の保険医療機関等に提供した場合について評価する。

(新) 入院栄養管理体制加算 270点 (入院初日及び退院時)

[対象患者]

特定機能病院入院基本料を算定している患者

[算定要件]

(1) 特定機能病院入院基本料を現に算定している患者に対して、**管理栄養士が必要な栄養管理を行った場合**に、入院初日及び退院時にそれぞれ1回に限り所定点数に加算する。この場合において、**栄養サポートチーム加算及び入院栄養食事指導料**は別に算定できない。

入院栄養管理体制加算については、病棟に常勤管理栄養士を配置して患者の病態・状態に応じた栄養管理を実施できる体制を確保していることを評価したものであり、**病棟の管理栄養士は、次に掲げる管理を実施**する。

ア **入院前の食生活等の情報収集、入退院支援部門との連携、入院患者に対する栄養スクリーニング、食物アレルギーの確認、栄養状態の評価及び栄養管理計画の策定**を行う。

イ 当該病棟に入院している患者に対して、**栄養状態に関する定期的な評価、必要に応じたミールラウンド、栄養食事指導又は当該患者の病態等に応じた食事内容の調整等の栄養管理**を行う。

ウ **医師、看護師等と連携し、当該患者の栄養管理状況等について共有**を行う。

(2) 別に厚生労働大臣が定める患者に対して、退院後の栄養食事管理について指導するとともに、入院中の栄養管理に関する情報を示す文書を用いて患者に説明し、これを他の保険医療機関、介護老人保健施設等又は指定障害者支援施設等若しくは福祉型障害児入所施設と共有した場合に、退院時1回に限り、**栄養情報提供加算**として**50点**を更に所定点数に加算する。

[施設基準]

(1) 当該病棟において、**専従の常勤の管理栄養士が1名以上配置**されていること。

(2) **入院時支援加算に係る届出を行っている保険医療機関**であること。

(3) 栄養情報提供加算の対象患者は、疾病治療の直接手段として、医師の発行する食事箋に基づき提供された適切な栄養量及び内容を有する特掲診療料の施設基準等別表第三に掲げる特別食を必要とする患者、がん患者、摂食機能若しくは嚥下機能が低下した患者又は低栄養状態にある患者であること。

(拡大)

入院栄養管理体制加算については、病棟に常勤管理栄養士を配置して患者の病態・状態に応じた栄養管理を実施できる体制を確保していることを評価したものであり、病棟の管理栄養士は、次に掲げる管理を実施する。

ア 入院前の食生活等の情報収集、入退院支援部門との連携、入院患者に対する栄養スクリーニング、食物アレルギーの確認、栄養状態の評価及び栄養管理計画の策定を行う。

イ 当該病棟に入院している患者に対して、栄養状態に関する定期的な評価、必要に応じたミールラウンド、栄養食事指導又は当該患者の病態等に応じた食事内容の調整等の栄養管理を行う。

ウ 医師、看護師等と連携し、当該患者の栄養管理状況等について共有を行う。

[施設基準]

(1)当該病棟において、専従の常勤の管理栄養士が1名以上配置されていること

1. 病棟栄養士へのこだわり
2. 従来からの脱却作戦
3. ファーストペンギンを恐れず
- 4. 食事・栄養で人々に幸せを**
5. 管理栄養士しかできないことを

ホスピスの食事を充実

- 選択メニュー
- パーティ食
- 家族食
- リクエスト食
- 全面委託化

リクエスト食の考案

- ◇ 毎週・土曜日の夕に実施
- ◇ あらゆる注文に対応する
- ◇ 前日に希望の内容を管理栄養士が聞きとる
- ◇ 聖句、メニューを記したカードを添える
- ◇ 調理師、医師、看護師、管理栄養士らで配膳

事例 1

Aさん：カレーを食べ続ける

「毎日カレーにしてな」「ぎょうさん！」

嚥下に問題のあるAさんはカレーが大好きで、毎日カレーをオーダーし続け8日間完食された。最後の夜も、やはりディナーはカレー。



事例 2

Bさん：行きつけの寿司屋のように

「ほなら、穴子にサーモンと、はまちにうなぎ1カン
ずつもらいませうか。」と注文され、翌日「何年
ぶりかで寿司を食べました、美味しかった！板長さん
によろしく言ってください」と挨拶された。



事例 3

Cさん：管理栄養士が考えた秘策

「妻ともう1度一緒にすき焼きを食べたい」が本当の望み。しかし、外泊は病状が許さない状況。



事例 4

Dさん：牛肉は母の愛

牛肉で強いアレルギー反応を起こすEさん

“牛カツ” “牛しぐれ煮” をリクエストされる
その訳とは



リクエスト食とは

心身を潤し生きる勇気を
与えうるもの

“心の栄養療法”

という オオタニ

1. 病棟栄養士へのこだわり
2. 従来からの脱却作戦
3. ファーストペンギンを恐れず
4. 食事・栄養で人々に幸せを
5. **管理栄養士しかできないことを**

栄養士・管理栄養士の仕事

栄養改善上必要な指導を行う
ことを業とする(栄養士法)



人が相手で、人の意識も変える



その前に自分を変える必要あり？

私の主人はわたし

私の人生をプログラミングするのはわたしであり、幸せにも不幸にもプログラムを書くことができる。

幸せも不幸も選択するのは私自身。

すなわち、

自分の幸せの責任は自分自身にある。

自分が変わり、周囲へ影響

まず最初は、個人^{自分}の成長から効果的な人間関係を実現し、周囲^{周囲}に影響を及ぼしていく(中から外へ)。

世界^{世界}
社会^{社会}
周囲^{周囲}
自分^{自分}

栄養は生命活動

- ◇ 人体は、食物から取り込んだ栄養素を中心に成り立つ。
- ◇ 食べることは健全な生命活動を営む行為そのもの。
- ◇ 人の一生で栄養は切り離せない。
- ◇ ゆえにあらゆる所、場面で栄養士・管理栄養士の活躍の場がある。

地域包括ケアシステム



介護予防と生活支援は地域の多様な主体によって支援され、養分をたっぷりと蓄えた土となり、葉として描かれた**専門職**が**効果的に関わり**、尊厳ある自分らしい暮らしの実現を**支援**しています。

栄養が果たす社会的役割

“Healthy Ageingをめざす”

急性期病院からホスピスと、様々な経験を
生かして、**高齢者が幸せな人生を全う**でき
るように、**栄養の力とその重要性を**広げて
いく必要がある。

リクエスト食はほんの一例であり、
少しの勇気と誠意と知恵があれば、
人々に

“しあわせをもたらす食事と栄養を”

管理栄養士なら演出できる。

今もこれからも大切にしたいこと

全ての人のために！
誠意をつくす

今日のメッセージ

誰かの一生のどこかで、その人の栄養に寄り添えるのは管理栄養士の特権であり、持てる力で誠意を尽くそう。

さらにこの先へ！

まばゆい光が見えてきている中で、
キッチンダイエティシヤンの時代は終わった。
しかし、新たな栄養問題が蔓延し始めている。
生き残っていく管理栄養士たちの挑戦は
どこまでも続く。

